第24回コミュニティ祭り

「コミュニティ祭り」は小山市あさひ地区推進協議会の13自治会の方々、コミュニティセンターの教室を利用されている方々及び旭小学校・城南小学校・城南中学校の児童・生徒さんなど、毎年多くの方々の参加協力のもと開かれています。昨年は10月15日(土)に城南公園とコミュニティセンターを利用して行われました。当日は生憎の雨模様で、楽器を使う小中学生の演奏などが中止となり残念でしたが、途中で雨もやみ無事終了できました。

作品展示

大島　秀子

作品展示は本館に出品する為、各教室の方々が、前日10時から準備をはじめ、昨年とは違う雰囲気作りに、創意工夫しながらの飾り付けとなり遅くまでの作業となりました。

当日予報通りの雨となってしまいましたが公園からセンター本館へと人の波が流れたようで、本館への来場者が昨年よりも多く感じられました。これは雨のおかげ？

展示の他に「デコパージュ」「茶道」の体験も出来、希望者も多く賑わっていました。作品に対しても「素敵！」「きれい」「すごい」などなどの声が聞こえ、大変嬉しく思いました。一生懸命頑張って作品に取り組んで製作した努力が実を結んだものと…。最高ですね！本当にご苦労様でした。

ステージ準備

柴田　恵通

ステージ準備係は祭りの看板設置、楽屋テント、放送設備の設営とプログラムに合わせたステージの準備ですが、当日は小雨のため、放送設備に雨がかからぬよう注意をしたりステージ上に準備用テントを移動したりしました。

残念ながら小中学生合奏や大正琴、詩吟、ギター演奏などが中止になりましたが、途中ズンバ・ハーモニカのあたりから小雨もやみ、普段コミュニティで練習された方たちの熱演で盛り上がりました。

内容が多少変わりましたが、最後まで多数の観客がおられました。次回もたくさんの出演をお願いします。

爆弾あられ

阿部晃一郎

途中から雨がぱらついたりして、来場者数もふるいませんでしたが、機械の方は快調そのもので、毎回白煙を上げて（湿気のせいか）、良い音を立てていました。今回はその音に女の子が興味を持って、数人がハンマー叩きに参加しました。小山テレビを見た方はおわかりでしょう。

米もきれいに膨らみ、また砂糖シロップの加減が丁度良くて、それほどべとつかず良い仕上がりでした。数はあの天候の中では、よくでた方かと思います。

次回は、小山名産の「はと麦」に挑戦しようかとの声も出ています。今後の検討課題です。爆弾あられの専門家は、気象その他の状況に合わせて加減するのでしょうが、素人はそうは出来ません。

そこがコミュニティ祭りの良いところかもしれません。

チョコバナナ

望月　安枝

当日は朝からあいにくの雨でしたが、7時に合図の花火が上がり、役員は七時半に集合してチョコバナナの準備を始めました。

天気予報が雨だったので、いつもよりバナナを少なく用意しました。雨が小降りになると人も増え、多勢の人が買いに来てくれたので、少しだけバナナを追加しましたが、閉会式の前に早めの完売になりました。

焼きそば

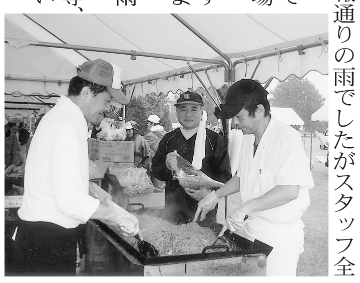
澤口　茂利

焼きそばコーナーは、750食を作る事を目標にスタッフ23名体制で3日前から材料等の仕入れを開始しました。

当日の天気予報が雨で不安がありましたが「小雨決行」という事で全員で準備しました。

当日は、予報通りの雨でしたがスタッフ全員雨の中、製造・販売に頑張っていただき、来場者が少ない中、500食弱、販売することが出来ました。

来年以降、雨天予報の場合、材料仕入数量等、考えていきたいと思います。



味噌おでん

末柄タミ子

当日は、朝から雨が降っておりました。果たして大勢の皆様にお出掛け頂けるのか、用意したおでんが多量に残ってしまわないか心配しました。

ところが、心配をよそにお昼近くになって雨も上がり始め、それにつれて人出も徐々に増えてきました。

雨の影響もあって会場内で快適に食べられるような状況ではないため、持ち帰る皆様が多いようでして、急遽用意したビニール袋が重宝しました。テントやテーブル・椅子が用意出来たらいいなあと思いました。

味噌おでんについては、味噌が美味しかったとのことで、作り方を教えてと言われ、ちょっぴり嬉しく思いました。

何はともあれ、味噌おでんの売店を通じて多くの皆様と交流を図ることが出来ました。

飲み物

宮沢　勇八

前日からの雨模様のため、事前に注文しないで、当日朝に予定の約４分の１程度いろいろなソフトドリンクやノンアルコールビール等を仕入れをしました。雨が上がり少しずつ売れ始めたので、例年の半分位まで買い足した結果、ちょうど売り切れ、無駄なく終了しました。

ビールも予約しなかったため、「ぬるい」と評判が悪く失敗でしたが、とにかく売り切れてホッとしました。

寒いコミュニティ祭りも何回か経験しました。大鍋で湯を沸かしながら、御茶のほかに温めて売れるものを考えるのも良いのではないかと思いました。来年度には前もって用意して皆さんをお迎えしたいものです。

輪投げ

江原　輝雄

輪投げは、得点別の棒に入った輪で点数を競うゲームですが、得点の計算には時間がかかるので、入った輪の数だけ賞品を差し上げることにした。

また、投げる位置を一般、幼稚園生、小学生低学年、子供から高齢者に分け、子供から高齢者まで気軽に面白く楽しめるようにした。天候が悪かったにも拘わらず、延人数で239名に楽しんでいただいた。

ヨーヨー釣り

勝見　眞久

雨模様のため、小中学生による演奏がなくなり、お客様（子供達）は来てくれるのか不安なスタートでした。確かに、客足はまばらでしたが、その分ヨーヨーのある水槽の周りでの混雑も無く、ゆっくりと一人何回もトライする子が多く、我々もまた子供達が欲しがる色のヨーヨーを補給してあげるなどして楽しく過ごすことが出来ました。　使われたヨーヨーの数は昨年の半分程度でしたが寒さの中、子供達の元気な笑い声にこちらもパワーを貰った一日でした。

部会活動報告

総務部会

部会主催にて６月ＪＡＬ機体整備工場（羽田空港）・東京国際空港の視察研修を行いました。

世界で初めて全日本空輸が23年９月から導入する米ボーイングの主力中型旅客機「７８７」の説明を受け参加した多くの方々がハイテク技術の知識を得て感銘しました、私達も搭乗出来る日を楽しみにしながら研修しました。

８月には小中学生を中心に夏休みの思い出にと城南公園を会場に夕涼み会を開催して大きなスクリーンに３月の東日本大震災を教訓に防災中心のＤＶＤを放映しました。会場では夏の風物詩のかき氷を頬ばりながら多くの子供たちが真夏の一夜を楽しむ事が出来ました。

10月には恒例のコミュニティ祭りにて盛り上げ役の爆弾あられ・焼きそばを担当し、地域の一般来場者にコミュニティの良さをＰＲしました。

年度末の二月には日頃利用させて頂いている城南公園の清掃を行う予定です。

最後に、新しい施設が出来てもより一層地域に貢献出来るコミュニティを築きあげられるよう努めていきたいと思います。

部長　山﨑　好一

体育社会部会

体育社会部は地域の人とコミュニケーションを図るとともに、健康維持を目的として次の活動を行いました。

６月14日（火）ゲートボール大会
・駅東公園にて４チーム20名参加
・優勝：駅東、２位：旭町、３位：駅南

６月26日（日）卓球大会
・旭小にて個人28名、団体２チーム
・男子優勝：土谷尚平、２位：松沼勲、３位：中村俊英
・女子優勝：佐々木礼子、２位：大村ひさ子、３位：大島秀子
・女子団体戦優勝：女子卓球

11月６日（日）ミニ駅伝大会
・城南公園内にて学年別周回で競走
・旭町東・西・南・駅南、大聖寺チーム保護者含め合計120名
・男子優勝：旭町東、２位：混成、３位：旭町南
・女子優勝：駅南、２位：旭町東、３位：大聖寺
・終了後豚汁、赤飯等で舌鼓を打った

12月４日（日）グランドゴルフ大会
・自由が丘グラウンドで85名参加
・男子優勝：鈴木武男、２位：篠田章、３位：石丸悦雄
・女子優勝：山寺久子、２位：篠田イキ子、３位：大塚ハナ

２月にゲートボール大会を実施し、３月にソフトボール大会を予定。24年度の活動予定は６月のゲートボール大会から始まり、色々計画しますので皆様奮って参加して下さい。

部長　江原　輝雄

教養・文化部会

★７月に、関東職業能力開発大学校に依頼して「親子工作教室」を開催しました。当日飛び入りがあり慌てましたが結局54名全員で実施しました。工作ではアルミのパイプを切って、動物の形のアクリル板に吊るし、ドアチャイムを作りました。パイプカッターや切り口の面取りをするリーマなどの道具を使うのがおもしろかったようです。

★11月11日生活環境部と合同で研修を実施しました。目的地は、①間宮林蔵記念館（茨城県つくばみらい市）②アサヒビール茨城工場（茨城県筑波郡伊奈町）。間宮林蔵記念館では領土問題が報道されたばかりでしたので、参加者が興味を示してくれました。アサヒビール茨城工場では、天気が良ければスカイツリーが見えるのに、残念ながら展望できませんでしたが、参加者はビールのサービスにご機嫌でした。

部長　宮沢　勇八

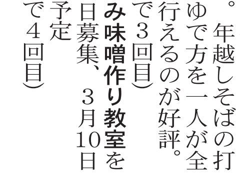
生活・環境部会

・６月に活動計画・担当を決める。部員は自分で出来ることには積極的に参加し、無理をしないこととして活動する事とした。

視察研修を11月11日に教養文化部と合同で実施、行き先は間宮林蔵記念館（勉強その１：北方四島の名をハ、シ、ク、エと覚える）、アサヒビール茨城工場（勉強その２：小山市のビール麦を使用。麦芽工場は小金井駅近くにあると説明を受けた）。参加者全員がまた参加したいとのことで良かった。

蕎麦打ち教室を12月17日に実施。年越しそばの打ち方、ゆで方を一人が全行程を行えるのが好評。
（今年で３回目）

寒仕込み味噌作り教室を３月６日募集、３月10日実施の予定
（今年で４回目）



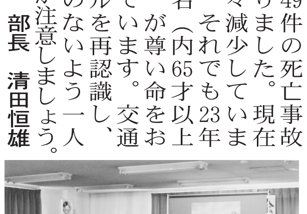
部長　柴田恵通

交通安全対策部会

当部会では毎年恒例になりましたシルバー交通安全講習会を年２回開催しています。今年度の１回目は８月19日（金）栃木県内を巡回している県のマロニエ号に来ていただき、講話・水戸黄門を模した交通安全の映画の上映、身体反能テスト等色々と学びました。

２回目は９月24日土曜日、ホンダの安全運転普及本部の方を招き、事故事例から学ぶ自転車の危険走行について、器具を使いモニターを見ながらの講習で３つの責任①刑事上の責任②民事上の責任③道義上の責任等勉強することができました。

今年度は２回共悪天候にもかかわらず、約50名の参加者がありました。両方参加した方には、今年１月14日小山市文化センターでの「交通・防犯・暴力追放市町民大会」で、交通安全シルバーリーダー認定証が交付され、５名以上参加したチームや自治会は団体表彰を受けました。あさひコミュニティ関係では次の通りです。旭町寿会・西城南いなり会及び駅南町・旭町南東・南・西・通宿東の各自治会の計７団体です。24年度も２回開催を予定しています。小山市の交通死亡事故は、統計をとりだした昭和30年より増えだし、多い時は49件の死亡事故がありました。現在は年々減少していますが、それでも23年度５名（内65才以上３名）が尊い命をおとしています。交通ルールを再認識し、事故のないよう一人一人が注意しましょう。

部長　清田恒雄